

みなと通信



VOL
03

新年明けましておめでとうございます



明けましておめでとうございます。

年末年始、皆様はどうお過ごしになりましたでしょうか。

ご実家でゆっくりお過ごしになった方、ご旅行に行かれた方、お仕事でお休みになれなかつた方、資格試験や受験のために勉強に勤しまれた方と様々だったかと思います。

私は、この時期になるとお腹の調子が悪くなってしまいます。

年末年始で、「暴飲暴食をするから」ではありません。大学共通テスト（以前のセンター試験）の時期になると、なかなかうまくいかず苦しんだ大学受験の記憶がよみがえってくるからです。

50歳を超えた今でも、試験に落ちてしまう夢を見ることがあります。ニュースで大学共通テストや国立大学の二次試験の報道を見ると、たびたび「胃のあたり」にすごい痛みが生じます。

さて、この「胃のあたり」の痛みはなぜ生じるのでしょうか？「胃の中に何かできた！？」から痛みがでるのでしょうか？

このような場合、まずは胃カメラや腹部超音波検査、CT検査等を行います。ただ、治療を要する異常を認めることはほとんどありません（頻度は低いですが、胃潰瘍や胃がん、胆石などの異常が見つかることがあるため検査は必要です）。このように、検査では異常がないのに、胃の辺りの痛みや胃もたれなどの症状をきたす病気を「機能性胃腸症（機能性ディスペプシア）」といいます。

この機能性胃腸症の原因ははっきりとはしていません。心理的なストレスや食生活のみだれによる胃・十二指腸の運動異常や知覚過敏、胃酸分泌などが原因と考えられています。

治療には、胃酸の分泌を抑える薬や、胃の動きをよくする薬、また、心理的なストレスに対しては抗不安薬や抗うつ薬を使用することができます。病気としては命に係わるような重病ではありませんが、様々な原因で症状が出現するという特性のため決まった治療法はなく、治療に難渋することができます。そのため、「なかなか良くならない」「検査で見落としがあるのでは・・・」といろいろな病院を受診される方もいらっしゃるようです。

この「機能性胃腸症」については症状が全くでないように治療することは困難です。主治医の先生と「治療目標」を立て、その目標に向かって生活習慣の改善や内服薬の変更・追加を地道に行っていくことが重要となります。

このような症状にお困りの際には当院へご相談ください。

院長 岩崎 智仁

Xmasコンサート

開催致しました!

昨年12月13日に毎年恒例のクリスマスコンサートを開催致しました。あいにくの雨模様の中でしたが、たくさんの方にご来場いただきました。

クリスマスにちなんだ曲を中心に、フルートとオーボエ、そしてピアノの素敵な音色をアンサンブルで楽しんでいただきました。

心温まる時間を皆様と一緒に過ごすことができ、スタッフ一同嬉しく思います。ご参加いただきました皆様、演奏者の方々誠にありがとうございました。

*院長も1曲だけアンサンブルで参加いたしました。



☆スタッフコラム☆

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎えるにあたり、昨年12月に開催した忘年会の様子を紹介いたします。

当日は美味しい料理を囲みながら、スタッフ同士の会話も弾み、楽しい時間を過ごしました(^^)

また、豪華景品をかけたじゃんけん大会では大いに盛り上がり、笑顔あふれるひとときとなりました！

忘年会で深まったスタッフ同士のつながりをエネルギーに、今年もスタッフ一同、皆さまの健康をしっかりとサポートしてまいります！

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



熊本みなとクリニック
内科・内視鏡内科

予約優先制

HP・LINE・お電話にてご予約ください



所在地：熊本市西区上代4丁目13-29
電話番号：096-288-0971